

建設防災 ボランティアニュース 第 20 号

「勝関橋ミニツアー案内」 研修と活動一周年を祝う会」の報告

薫風溢れる五月にもかかわらず、隅田川の川面にはひとしきりの小雨が落ちる中、5 月 11 日、「かちどき 橋の資料館」に隣接する築地市場厚生会館にて建設局、道路整備保全公社、当協会の関係者 80 名が参加して勝関橋ミニツアー研修会及び一周年を祝う会が催されました。

このツアーは、昨年 4 月に開設された「かちどき 橋の資料館」に連携して、建設局、道路整備保全公社そして当協会の 3 者が協力して貴重な歴史遺産でもある勝関橋の橋脚内部の姿を広く都民に案内し、昭和初期の最先端技術とそれに取り組んだ技術者の姿を理解してもらうことを目的にスタートしたものです。

研修会は奥水副会長の司会の下、最初に道路管理部保全課関口係長、公社宮澤総務部長からこの 1 年間の活動へのお礼と今後への期待を込めた挨拶があり、次に公社長谷川係長から活動結果の報告がありました。



(保全課
関口係長)



(公社・宮澤総務部長
の挨拶)

内容は、昨年の 4 月に 3 者で協定を締結してからの経過として、①ガイド研修会の実施、②安全対策への対応、③参加者へわたす記念絵葉書の作成(これは参加者から大好評であったとのこと)、④テレビ・新聞等のメディアに

取り上げられたことによる見学者殺到への対応、⑤テクニカルツアーの実施、⑥来館者の利便性向上のため予約受付から当日受付への改善などを行ったことにより、87 歳の最高齢者を含め 805 名の方々が参加されたことを丁寧説明されました。



(研修中の参加者)

また、ツアー参加者からは多くの感想が寄せられ、その中には会員による安全第一のきめ細かい気配りや、やさしく分かりやすいガイドに感謝するといったものが多数あったとのこと、われわれ会員のささやかな努力も報われたことを嬉しく思いました。

2 年目を迎え今後の課題として、さらに多くの見学者に来館していただく方策やテクニカルツアーとの連携など、関係者とさらに意見を交換しながらよりよいツアーにしていきたいと締め括りました。



(公社・長谷川係長)



(木住野さん)

次に、「かちどき橋の資料館」の木住野さん

から来館者の年齢別、季節別傾向や気温をもとに気候と来館者との関係を分析した調査結果や、さらには「勝鬨橋の記憶」とし第1期から第4期までの建設経過、跳開の様子、開かずの橋となる姿、開閉の原理などを収集した写真を用いて映像で説明されました。

こうした資料は断片的には知っていても全体として知ることは少ないので専門家のみならず、広く都民に貴重なものとして知ってもらうことが大切であると感じました。

(来賓の方々)



阿部道路保全
担当部長

渡邊公社建設部長
担当部長



一建 所長・幹部職員

最後にこのツアーが一人の事故も出さず、無事に一年を終了したことを祝いました。そして、18年度もツアー協力者はもちろんのこと関係者が一致してこの事業をさらに実り多いものにしていくことを参加者全員が誓って懇親会に移りました。

丸 岡 敏 夫

緊急「急傾斜地点検」の報告

5月15日奥多摩町の国道411号線で山側斜面の空石積擁壁が崩壊し交通止めとなった。

西建ではこの災害を重く受け止め、6月5日

に管内の急傾斜地崩壊防止事業で設置した施設を緊急に点検することとなり、ボランティア協会から小山(弘)、岸の2名が協力要請を受け参加した。

西建には、1,000箇所を越える急傾斜地崩壊危険箇所があるが、特に危険度が高い箇所から、危険区域に指定して対策を施し、土砂災害から住民を保護している。現在までに、15地区、19箇所が指定され、17箇所の工事が完成している。

今回の点検は、奥多摩町管内で山梨県境に近い小留浦(コトヅラ)地区など3地区、青梅市管内では、御岳山地区を含め4地区の計7地区を2班に分けて実施した。



(斜面の状況)

奥多摩町小留浦地区は、平成3年の台風で土砂崩れが発生し旅館の宿泊客など3名が亡くなり、1名がいまだに行くえ不明となっている場所であり、災害復旧で設置した法枠下にある鎮魂碑に合掌し、冥福を祈ってから点検を開始した。



(点検作業中の職員達)

当日は、天気も良く気温も高かったため、全員汗だくになりながら斜面を上り下りして、法枠や落石待ちうけ柵の状況を確認した。

点検後、施設に大きな異常は確認されなかつ

ったが、落石待ちうけ柵に上から落ちてきただろうと思われる、かなり大きな石が止まっていた箇所もあり施設の重要性が改めて認識させられた。

これから、梅雨・台風シーズンと斜面のある地域では“嫌な”季節の到来となるが、土砂災害等が起こらないよう祈るばかりである。

西 建 班 岸 忠 夫

「東京都建設防災ボランティア協会 第 10 回定期総会」開催される

去る 6 月 7 日 14 時から「東京都建設防災ボランティア協会第 10 回定期総会」が、日比谷市民カレッジ教室において開催されました。

当日はご多忙のなか、来賓として建設局吉原企画担当参事、東京都公園協会山下理事長、東京都道路整備保全公社小池理事長にご臨席いただき、また 80 名にも上る多数の会員の方々に出席いただきました。

(主催者、来賓の方々の挨拶)



(沼尻会長)



(吉原企画担当参事)



(公園協会
山下理事長)



(道路整備保全公社
小池理事長)

はじめに沼尻会長から、昨年の活動概要と今年度の取組み方針や来年 6 月で協会設立 10 周年となるため記念事業を企画したいとのお

話があり、次に来賓の方々より当協会の活動に対する御礼と引き続きの協力依頼を主旨とするご挨拶をいただきました。

その後、中田勝司さんを議長に選出し、17 年度事業報告及び決算報告、18 年度事業計画(案)及び予算(案)等の議事が審議され、すべて原案のとおり承認されました。

議事終了後、会長から 18 年度の各事務所リーダーの指名並びに委嘱状の交付、また 17 年度の協会活動に貢献された方々(奥富宣雄外 8 名)と永年チームリーダーとして貢献された方々(市村寛さん外 20 名)への感謝状贈呈があり、総会はつつがなく終了しました。



(総会の状況)



(事務所リーダー代表に委嘱状の交付)



(協会活動功労者への感謝状贈呈)
(活動功労者:奥富宣雄、来原 昌、佐藤 肇、

高本 正彦、中田 勝司、根本康雄、丸山勝彦、笹村正行、堀内康彦、伊藤浩之 敬称略)



(協会運営功労者への感謝状贈呈)

(運営功労者:山口岩男、板倉治夫、市村寛、飯山鐵之助、間室継三郎、加山宏、吉田稔、金野軍志、高杉昇治、栗田則男、新井国弘、小山弘光、池野鎮雄、武内利夫、佐藤俊、中西徹、菊池太彦、高橋久夫、後藤旭、伊藤泰二郎 敬称略)

引き続き1階サロンにおいて和やかに懇親会が持たれました。

広報担当役員 本 間 弘

平成 18 年度バリアフリー点検報告

1. 第三建設事務所

第三建設事務所では、梅雨の合間の晴れた日で非常に蒸し暑い6月 20 日に車椅子によるバリアフリー点検を実施した。

建設防災ボランティアからの参加者は、中田、加藤、菊地、飯山の四名であった。三建からは米田所長、関谷補修課長、海老原管理課長他 15名であった。

今回の道路点検は、旧杉並南工区管内の都道を対象に行われている。

今年度のバリアフリー点検の実施区間は、環状八号線の高井戸駅前後の約 800m であり、点検の起点は高井戸北歩道橋で終点は高井戸南歩道橋までであった。

点検は車椅子 2 台を用いて内回り外回りに別れてそれぞれ乗車体験をしながら、また傾斜計で勾配を測定しながら実施した。

環状八号線は高井戸駅周辺で神田川と交差しているため起点から高井戸駅に向かって下りになって、高井戸駅から終点に向かって

上りになっている。



(車椅子によるバリアフリー点検作業)

従って縦断的には車椅子で上りも下りも体験しながら点検が出来た。

点検区間の環八は長い間、杉並清掃工場建設反対で難航した箇所、清掃工場へのごみの搬入道路を環八から直接、清掃工場までトンネルを造ったことを思い出した。

今回の点検で車道の横断歩道のための切り下げと、歩道の縦断方向の枝道擦り付けのための切り下げなどの点検の結果、特に困難なところは無かった。

また、縁石の段差は車椅子にとって微妙に障害となることが判った。

今回、点検した道路でスーパーの前では買い物客の自転車が歩道を狭めているのが目立ち、更にバスベイは歩道を切り欠いて設置するため、歩道部の平坦部分が少なくなるのと同時にバス待ちの人が多く、車椅子にとっては走行しにくいことが判った。

これらのことが、今後の歩道作りの課題として挙げられるだろう。今回の点検で実際に車椅子を使って歩道を往来している人を多く見かけた。



(参加ボランティア会員と三建幹部)

今後、高齢化社会に向けて実際に車椅子を使って、日常生活を送る人が増えるものと思われるので、出来るだけ車椅子が快適に走行できる歩道の整備が望まれるようになってくるものと思われる。

点検は約一時間強で終わり、最後に米田所長から謝辞を頂き参加ボランティアは、ほのぼのとした快感を感じながら解散した。

三 建 班 飯 山 鉄 之 助

1. 南多摩西部建設事務所

6月29日午前9時30分八王子駅南口集合で、南西建から補習課木村補佐、管理課鈴木監察係長とボランティア会員から矢野、笹村、堀内の3名で、車椅子(手動)を使用し点検を実施しました。

当日のバリアフリー点検対象路線は、八王子駅南口の前を東西に走る野猿街道(160号)で、旧野猿街道の交差点から国道16号の交差点までの0.7kmを往復しての点検です。

本路線の沿道は、商業施設(大型から個人商店)と住居が混在している町並みです。駅前なので歩行者、自転車が多く注意しながら、車椅子に乗り往復実施した。

その結果はおおむね良好に管理されており、事故につながるような指摘事項はないが、切り下げ、巻き込み部の勾配の改善をお願いいたしました。

今回の点検で車椅子に乗って感じたことは、目線が低くなりいろんな施設や標識が見づらいこと、横断歩道を渡るときなどは、大型車が停車していると怖く感じたしだいで良い経験をしました。

なお、本路線は地中化の事業を段階的に始めるとのことです、車椅子使用者も安全に利用しやすい道路になることを期待します。

点検終了後に事務所に寄り、鈴木副所長、山縣管理課長、小林補修課長に点検終了の報告を行い解散しました。

最後に南西建の皆様、ボランティアの皆さんお疲れ様でした。

南西建班 堀 内 康 彦

環七歩道点検報告

平成18年6月27日、三建管内環七における歩道点検を体験してきました。当日は午後2時に東京メトロ方南町駅の出口で補修課太田補佐、管理課鈴木主任と待ち合わせた。

初対面であるため、見慣れた夏服を目当てに待っていたら、どちらからともなく挨拶を交わした後、点検に入りました。

点検の範囲は神田川の方南橋から善福寺川の和田橋の間、往復約2kmである。早速点検を開始。さすが方南町の交差点はコンビニや色々な店舗が軒を連ね、人通りも結構多いような気がした。

先ず眼に付いたのは、貸家の案内やバイク用品宣伝等の立て看板。歩道を花壇代わりにアジサイなどを植えているのが見受けられた。

環七の交通量の中で、植物が生々と育っている。多分店の人が植えた花ではあるが、たくましく育っている。街路樹のスズカケも勢い良く葉を茂らせ、根はがっちり張っており、歩道ブロックを押し上げているところがあった。



(点検作業中の職員と協会員)

根を一部除去して、歩道の高さを修復されることになるだろうと思うが、樹木の保存と両立するようにしてもらいたいものである。



(点検作業中の職員と協会員)

環七の活発な交通量、人の往き来、街路樹のたくましく仁王立ちしたように聳え立っている姿を見たとき、「道」とは何かとゆうことをしみじみと考えさせられた。ふと、道の枕詞は「たまぼこの」だったなと思い出した。

「たまぼこの」とは玉で飾った鉾(矛)と辞書に出ているが、古代日本人が感じた「道」とは、単に人が踏みしだく道ではなかったのだろうと想像できる。

現代の道路と古代の道とを同一に考えるのは、いささか見当外れかもしれないが、道は人と人との交流の場であることに変わりはない。次のような「良寛さん」の歌がこのことを物語っている。

「冬ごもり 春さきくれば 飯乞(いいこ)ふと
草の庵を 立ち出でて 里に行けば たまぼこの道の巷に
子供らが今を春べと 手鞠つくひふみよいなむ 汝(な)がつけば 吾(あ)はうたい
あがつけば 汝は歌い つきて歌いて 霞立つ 長き春日を暮らしつるかも 霞立つ 長き春日を子供らと 手鞠つきつつ 今日も暮らしつ」

本日の歩道点検で何らかの手を加えなければならぬのは 13 件であった。

三建班 菊池 太彦

会員の動向

1. 平成18年度新規入会者

(最終職場・参集事務所)

杉浦 浩 (都市整備局・本部)
田中 敏夫 (南西建・六建)
原田 龍次 (河川部・南東建)
宮寺 孝臣 (一建・一建)
(敬称略)

2. 平成18年度退会者(物故者を含む)

武井 聖明、竹内 莊之
塚田 耕作、西郷 靖
村松 栄治、安江 仗
大久保文夫、貝瀬 充
田島 照、鴻巣 泰男
奥山 義夫、倉増 功美

石田 啓三、石島 輝男
井田 賢、瀧下 純志
宮崎 真澄、三沢 英夫
花田 勇、佐藤 嘉倬
高橋 喜治、小口 真
相澤 弘三、藤川 完治
直江 章、蜜本 圭一
佐藤 貞一 (敬称略)

長い間ご苦労様でした。

環状 8 号線全線開通

四建で施工していた練馬・板橋区内の約 4.2km が完成し、5 月 27 日に記念式典が開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、国交省を始め、両区々長、議会関係者、工事関係者等多数の参列者が、全線開通を盛大に祝いました。



(石原知事の挨拶)

編集後記

平成18年度の第1号は、勝鬨橋ミニツアー1周年記念の研修会と懇親会、緊急急傾斜地点検、バリアフリー点検、施設点検の報告原稿を頂きました。寄稿者の皆様ありがとうございました。

今年度の広報は、本間と加藤が担当します。よろしくお願いいたします。

発行人：沼尻 敦

発行：東京都建設防災ボランティア協会

所在地：東京都新宿区西新宿 2-3-1

財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集：本間 弘、加藤 基雄